

明日はこれを読もう

二見時代小説文庫

時代小説

小杉健治

足首に  
赤い布の男が  
大店周辺に。  
三年ぶりの凶行  
の下見か？

# 赤い布の盗賊

栄次郎江戸暦21



栄次郎は『山形屋』の裏口近くで小間物屋と出くわした。小間物屋の足首には赤い布が。すぐに南町与力に聞いた盗賊赤間一味のことが頭に浮かんだ。足首に赤い布を巻いていたという。三年前に押込みは終わっていたが、またもや、赤い布の盗賊が動き出したのか!?

二見書房